【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和7年7月3日(2025.7.3)

【国際公開番号】WO2024/166283
【出願番号】特願2024-575978(P2024-575978)
【国際特許分類】
*Ｂ６０Ｋ 35/81(2024.01)*
*Ｂ６０Ｋ 35/22(2024.01)*
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｋ 35/81
Ｂ６０Ｋ 35/22

【手続補正書】
【提出日】令和6年8月8日(2024.8.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両に関するコンテンツ情報をメータ表示部に表現するメータ表示モードを備える表示装置であって、
前記メータ表示モードは、
予め設定され、複数の前記コンテンツ情報のうち互いに所定の関連性を持つ前記コンテンツ情報を表現する二つ以上の同一形状の前記メータ表示部を同一画面に並べて表示する第一表示画面と、
複数の前記メータ表示部が表現する前記複数のコンテンツ情報の中から前記車両のユーザが任意に選択した前記コンテンツ情報を表現する前記メータ表示部を表示する第二表示画面と、を有し、
前記ユーザの画面切替操作により前記第一表示画面と前記第二表示画面とを切り替え可能であり、前記切り替えの際に前記第一表示画面の前記メータ表示部と前記第二表示画面の前記メータ表示部との同一形状及び同一配置が維持される
ことを特徴とする、表示装置。
【請求項２】
前記関連性が異なる複数種類の前記第一表示画面が予め設定されている
ことを特徴とする、請求項１に記載の表示装置。
【請求項３】
前記第一表示画面の前記メータ表示部の数と、前記第二表示画面の前記メータ表示部の数とが同一である
ことを特徴とする、請求項１又は２に記載の表示装置。
【請求項４】
前記第一表示画面の前記メータ表示部の数が３であり、
前記メータ表示モードの画面サイズは、前記ユーザのモード切替操作により、全画面サイズと、前記全画面サイズの約３分の２の割合の第一縮小サイズと、前記全画面サイズの約３分の１の割合の第二縮小サイズとのいずれか一つに変更可能に構成され、
前記第一縮小サイズでは、表示される前記メータ表示部の数が２に削減され、前記第二縮小サイズでは、表示される前記メータ表示部の数が１に削減される
ことを特徴とする、請求項１～３の何れか一項に記載の表示装置。

【請求項５】
前記メータ表示モードの画面サイズが前記第一縮小サイズ又は前記第二縮小サイズの場合に、前記ユーザのメータ切替操作により、表示される前記メータ表示部が切り替わる
ことを特徴とする、請求項４に記載の表示装置。
【請求項６】
前記メータ表示モード以外の他の表示モードを備え、
前記メータ表示モードの画面サイズが前記第一縮小サイズ又は前記第二縮小サイズである場合に、前記他の表示モードを前記第一縮小サイズ及び前記第二縮小サイズの少なくとも一方の画面サイズで前記メータ表示モードと共に同一画面に表示する
ことを特徴とする、請求項４又は５に記載の表示装置。
【請求項７】
前記メータ表示モードは、
その画面サイズが全画面サイズである場合に、前記画面切替操作の受付が不可能な固定表示と前記画面切替操作の受付が可能な選択表示とが所定条件の成立により切り替わるように構成され、
前記選択表示では、前記画面切替操作を受け付ける受付領域と、アプリケーション起動用のランチャーが表示されるランチャー表示領域とが設けられ、
前記固定表示では、前記ランチャー表示領域が非表示であり、且つ、前記メータ表示部が前記選択表示での前記メータ表示部の大きさよりも拡大表示される
ことを特徴とする、請求項１～６の何れか一項に記載の表示装置。
【請求項８】
車両に関するコンテンツ情報をメータ表示部に表現するメータ表示モードを備える表示装置であって、
前記メータ表示モードは、
予め設定され、複数の前記メータ表示部のうち互いに所定の関連性を持つ二つ以上の前記メータ表示部を同一画面に並べて表示する第一表示画面と、
前記複数のメータ表示部の中から前記車両のユーザが任意に選択した前記メータ表示部を表示する第二表示画面と、を有し、
前記ユーザの画面切替操作により前記第一表示画面と前記第二表示画面とを切り替え可能であり、
前記第一表示画面の前記メータ表示部の数が３であり、
前記メータ表示部の数が３の状態において前記ユーザのモード切替操作が一回実施されると、表示される前記メータ表示部の数が２に削減され、前記メータ表示部の数が２の状態において前記モード切替操作が一回実施されると、表示される前記メータ表示部の数が１に削減される
ことを特徴とする、表示装置。
【請求項９】
車両に関するコンテンツ情報をメータ表示部に表現するメータ表示モードを備える表示装置であって、
前記メータ表示モードは、
予め設定され、複数の前記メータ表示部のうち互いに所定の関連性を持つ二つ以上の前記メータ表示部を同一画面に並べて表示する第一表示画面と、
前記複数のメータ表示部の中から前記車両のユーザが任意に選択した前記メータ表示部を表示する第二表示画面と、を有し、
前記ユーザの画面切替操作により前記第一表示画面と前記第二表示画面とを切り替え可能であり、
前記第一表示画面の前記メータ表示部の数が３であり、
前記メータ表示モードの画面サイズは、前記ユーザのモード切替操作により、全画面サイズと、前記全画面サイズの約３分の２の割合の第一縮小サイズと、前記全画面サイズの約３分の１の割合の第二縮小サイズとのいずれか一つに変更可能に構成され、

前記第一縮小サイズでは、表示される前記メータ表示部の数が２に削減され、前記第二縮小サイズでは、表示される前記メータ表示部の数が１に削減される
ことを特徴とする、表示装置。
【請求項１０】
前記メータ表示モードの画面サイズが前記第一縮小サイズ又は前記第二縮小サイズの場合に、前記ユーザのメータ切替操作により、表示される前記メータ表示部が切り替わる
ことを特徴とする、請求項９に記載の表示装置。
【請求項１１】
前記メータ表示モード以外の他の表示モードを備え、
前記メータ表示モードの画面サイズが前記第一縮小サイズ又は前記第二縮小サイズである場合に、前記他の表示モードを前記第一縮小サイズ及び前記第二縮小サイズの少なくとも一方の画面サイズで前記メータ表示モードと共に同一画面に表示する
ことを特徴とする、請求項９又は１０に記載の表示装置。
【請求項１２】
前記メータ表示モードは、
その画面サイズが全画面サイズである場合に、前記画面切替操作の受付が不可能な固定表示と前記画面切替操作の受付が可能な選択表示とが所定条件の成立により切り替わるように構成され、
前記選択表示では、前記画面切替操作を受け付ける受付領域と、アプリケーション起動用のランチャーが表示されるランチャー表示領域とが設けられ、
前記固定表示では、前記ランチャー表示領域が非表示であり、且つ、前記メータ表示部が前記選択表示での前記メータ表示部の大きさよりも拡大表示される
ことを特徴とする、請求項９～１１の何れか一項に記載の表示装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
一つとする。なお、この目的に限らず、後述する「発明を実施するための形態」に示す各構成から導き出される作用効果であって、従来の技術では得られない作用効果を奏することも、本件の他の目的である。
課題を解決するための手段
［０００６］
開示の表示装置は、以下に開示する態様（適用例）として実現でき、上記の課題の少なくとも一部を解決する。態様２以降の各態様は、何れもが付加的に適宜選択されうる態様であって、何れもが省略可能な態様である。態様２以降の各態様は、何れもが本件にとって必要不可欠な態様や構成を開示するものではない。
［０００７］
態様１．開示する第一の表示装置は、車両に関するコンテンツ情報をメータ表示部に表現するメータ表示モードを備える表示装置であって、前記メータ表示モードは、予め設定され、複数の前記コンテンツ情報のうち互いに所定の関連性を持つ前記コンテンツ情報を表現する二つ以上の同一形状の前記メータ表示部を同一画面に並べて表示する第一表示画面と、複数の前記メータ表示部が表現する前記複数のコンテンツ情報の中から前記車両のユーザが任意に選択した前記コンテンツ情報を表現する前記メータ表示部を表示する第二表示画面と、を有し、前記ユーザの画面切替操作により前記第一表示画面と前記第二表示画面とを切り替え可能であり、前記切り替えの際に前記第一表示画面の前記メータ表示部と前記第二表示画面の前記メータ表示部との同一形状及び同一配置が維持される。
［０００８］
態様２．上記の態様１において、前記関連性が異なる複数種類の前記第一表示画面が予

め設定されていることが好ましい。
態様３．上記の態様１又は２において、前記第一表示画面の前記メータ表示部の数と、前記第二表示画面の前記メータ表示部の数とが同一であることが好ましい。
［０００９］
態様４．上記の態様１～３の何れかにおいて、前記第一表示画面の前記メータ表示部の数が３であり、前記メータ表示モードの画面サイズは、前記ユーザのモード切替操作により、全画面サイズと、前記全画面サイズの約３分の２の割合の第一縮小サイズと、前記全画面サイズの約３分の１の割合の第二縮小サイズとのいずれか一つに変更可能に構成され、前記第一縮小サイズでは、表示される前記メータ表示部の数が２に削減され、前記第二縮小サイ
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
ズでは、表示される前記メータ表示部の数が１に削減されることが好ましい。
［００１０］
態様５．上記の態様４において、前記メータ表示モードの画面サイズが前記第一縮小サイズ又は前記第二縮小サイズの場合に、前記ユーザのメータ切替操作により、表示される前記メータ表示部が切り替わることが好ましい。
態様６．上記の態様４又は５において、前記メータ表示モード以外の他の表示モードを備え、前記メータ表示モードの画面サイズが前記第一縮小サイズ又は前記第二縮小サイズである場合に、前記他の表示モードを前記第一縮小サイズ及び前記第二縮小サイズの少なくとも一方の画面サイズで前記メータ表示モードと共に同一画面に表示することが好ましい。
［００１１］
態様７．上記の態様１～６の何れかにおいて、前記メータ表示モードは、その画面サイズが全画面サイズである場合に、前記画面切替操作の受付が不可能な固定表示と前記画面切替操作の受付が可能な選択表示とが所定条件の成立により切り替わるように構成され、前記選択表示では、前記画面切替操作を受け付ける受付領域と、アプリケーション起動用のランチャーが表示されるランチャー表示領域とが設けられ、前記固定表示では、前記ランチャー表示領域が非表示であり、且つ、前記メータ表示部が前記選択表示での前記メータ表示部の大きさよりも拡大表示されることが好ましい。
態様８．開示する第二の表示装置は、車両に関するコンテンツ情報をメータ表示部に表現するメータ表示モードを備える表示装置であって、前記メータ表示モードは、予め設定され、複数の前記メータ表示部のうち互いに所定の関連性を持つ二つ以上の前記メータ表示部を同一画面に並べて表示する第一表示画面と、前記複数のメータ表示部の中から前記車両のユーザが任意に選択した前記メータ表示部を表示する第二表示画面と、を有し、前記ユーザの画面切替操作により前記第一表示画面と前記第二表示画面とを切り替え可能であり、前記第一表示画面の前記メータ表示部の数が３であり、前記メータ表示部の数が３の状態において前記ユーザのモード切替操作が一回実施されると、表示される前記メータ表示部の数が２に削減され、前記メータ表示部の数が２の状態において前記モード切替操作が一回実施されると、表示される前記メータ表示部の数が１に削減される。
態様９．開示する第三の表示装置は、車両に関するコンテンツ情報をメータ表示部に表現するメータ表示モードを備える表示装置であって、前記メータ表示モードは、予め設定され、複数の前記メータ表示部のうち互いに所定の関連性を持つ二つ以上の前記メータ表示部を同一画面に並べて表示する第一表示画面と、前記複数のメータ表示部の中から前記車両のユーザが任意に選択した前記メータ表示部を表示する第二表示画面と、を有し、前記ユーザの画面切替操作により前記第一表示画面と前記第二表示画面とを切り替え可能で

あり、前記第一表示画面の前記メータ表示部の数が３であり、前記メータ表示モードの画面サイズは、前記ユーザのモード切替操作により、全画面サイズと、前記全画面サイズの約３分の２の割合の第一縮小サイズと、前記全画面サイズの約３分の１の割合の第二縮小サイズとのいずれか一つに変更可能に構成され、前記第一縮小サイズでは、表示される前記メータ表示部の数が２に削減され、前記第二縮小サイズでは、表示される前記メータ表示部の数が１に削減される。

態様１０．上記の態様９において、前記メータ表示モードの画面サイズが前記第一縮小サイズ又は前記第二縮小サイズの場合に、前記ユーザのメータ切替操作により、表示される前記メータ表示部が切り替わることが好ましい。

態様１１．上記の態様９又は１０において、前記メータ表示モード以外の他の表示モードを備え、前記メータ表示モードの画面サイズが前記第一縮小サイズ又は前記第二縮小サイズである場合に、前記他の表示モードを前記第一縮小サイズ及び前記第二縮小サイズの少なくとも一方の画面サイズで前記メータ表示モードと共に同一画面に表示することが好ましい。

態様１２．上記の態様９～１１の何れかにおいて、前記メータ表示モードは、その画面サイズが全画面サイズである場合に、前記画面切替操作の受付が不可能な固定表示と前記画面切替操作の受付が可能な選択表示とが所定条件の成立により切り替わるように構成され、前記選択表示では、前記画面切替操作を受け付ける受付領域と、アプリケーション起動用のランチャーが表示されるランチャー表示領域とが設けられ、前記固定表示では、前記ランチャー表示領域が非表示であり、且つ、前記メータ表示部が前記選択表示での前記メータ表示部の大きさよりも拡大表示されることが好ましい。

## 発明の効果

［００１２］

開示の表示装置によれば、ユーザの利便性を高められるとともに、有用なコンテンツ情報を提供することができる。

## 図面の簡単な説明

［００１３］

［図１］実施形態に係る表示装置の構成を示すブロック図である。

［図２］第一表示画面の第一具体例を示す図である。

［図３］第一表示画面の第二具体例を示す図である。

［図４］第一表示画面の第三具体例を示す図である。

［図５］第一表示画面の第四具体例を示す図である。

［図６］第一表示画面の第五具体例を示す図である。